

野蒜復興新聞



野蒜復興部会 発足

7月18日

野蒜まちづくり協議会の専門部会として、このたび2012年7月18日に、新たに「復興部会」が誕生しました。この部会が誕生した背景としては、今後多くの住民が参加し、住民主体で復興まちづくりを考え、実現していこうということからです。復興部会のメンバーは現在25名。在宅と仮設それぞれの住民がメンバーとなっています。まず野蒜市民センターから概要の説明。そして役員を選出と班編成について協議しました。部会長、副部会長、班編成について参加者で協議し、4つの班分けと今後の予定などについて話合いました。また、講師として東松島市有識者委員として東松島市のまちづくり計画で活動している宮城大学事業構想学部事業構想学科 鈴木孝男 助教にも参加していただき、今後の住民主体のまちづくりにおけるアドバイスと、他市町の事例などをご紹介していただきました。参加したメンバーからも「今後活動をしていくなかで、もっと多くの住民に参加してもらえるように、情報発信をしていき、たくさんの住民と共に復興まちづくりを考えていきたい」というコメントをいただきました。

※ 復興部会長 成澤孝一
復興部副会長 和泉勝夫
復興部副会長 鈴木重美

復興部会4つの班を編成 参加者を随時募集中

「復興部会」現在メンバー25名は4つの班に分かれそれぞれの分野別の話し合いの場をこれからもっていきます。まずは見学からでも結構です。お待ちしております。

①復興班

緊急時避難道路の確保／移転先コミュニティ形成／在宅地域の安全対策

②教育施設班

小、中学校建設促進／運動公園再建

③医療福祉班

医療施設の誘致促進／福祉施設の誘致促進／子育て支援対策策定

④産業振興班

被災農地の復旧対策策定／水産施設の復旧対策策定／商業施設の誘致策定／観光施設の復旧計画策定

※4つの班に共通する議題として「移転跡地の土地利用計画策定」があります

次の話し合いの日程 会場:野蒜市民センター

復興班	8月 11日(土)	18:30～
産業振興班	8月 23日(木)	18:00～
教育施設班	8月 26日(日)	10:00～
医療福祉班	8月 29日(水)	14:00～



第一回目

4つの班会議 内容

復興班 7月23日 19:00～

第一回目の復興班の会議においては、まず東松島市復興政策部 班長に来ていただき今後復興班で緊急避難道路などを議論していく上で必要な、行政の決定事項や進捗状況などの説明をしていただきました。その後の話し合いの場においては、9月末を目標に復興班として、「移転跡地の土地利用計画」の地域としての要望を定めていくこととし、また多くの住民にこの復興部に参加してもらえるよう、情報発信と声かけをしていくことなどを話合いました。次の8月11日(土)の会議の場においては、避難場所や避難道路について話合います。共に安全で安心できる街づくりを実現しましょう。ご参加おまちしております。

(復興班:石井典男班長)

教育施設班 7月27日 10:00～

第一回目の教育施設班では、班長から野蒜小学校と鳴瀬一中と二中の現在の進捗状況について説明していただきました。今後小学校の高台移転など、地域としてどのような学校、どのような場所を望んでいくべきか、話し合っていないではなりません。また必要となってくる運動施設のアイデアも沢山でてきました「野球場、総合体育館、サッカー場、プール、マレットゴルフコースなどなど」。今後も多くのアイデアを集め、話し合いの場をもっていきますので、皆さんの参加をお待ちしております。(教育施設班:内海國男班長)

医療福祉班 7月25日 14:00～

第一回目の医療福祉班では、班長から現在の野蒜地区の医療状況を説明していただきました。現在野蒜地域には医療施設が一つもなく不自由している人が大勢いること。病院、介護施設、託児所などなど、野蒜に必要な医療福祉の問題について話合いました。今後野蒜地区での子育て支援対策も実施していくべきであり、多くの母親世代、若い世代の参加とご意見が必要となることも話合われました。まずは見学からでもかまいません、皆さんのご参加心よりお待ちしております。

(医療福祉班:寺嶋正泰班長)



産業振興班 8月2日 18:00～

第一回目の産業振興班では、野蒜地区の農業、漁業、などの現状を確認し、今後どのような産業で野蒜の復興を目指していくべきかなどを話合いました。野蒜にある資源をいかした観光を基に、農業、漁業、商業を活性化させていきたい。かんぼの宿のような施設の誘致、「環境未来都市構想」を基に、バイオマスやメガソーラーなどに関連づけた計画、運河を利用したヨーロッパのような町並みなど、さまざまなアイデアがだされました。次の開催は8月23日(木)18:00～野蒜市民センターで開催します。一緒に野蒜の産業振興を考えましょう、参加おまちしております。(産業振興班:木島照男班長)

